

① 次の三字熟語はどんな組み立てになっていますか。あとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 大自然 () (2) 天地人 ()
- (3) 機械化 () (4) 不公平 ()
- (5) 雪月花 () (6) 自由詩 ()

- ア 上の一字が下の二字の熟語へかかるもの (□↓□□)
- イ 上の二字の熟語が下の一字へかかるもの (□□↓□)
- ウ 打ち消しの語が二字の熟語の上についたもの (□+□□)
- エ 接尾語が二字の熟語の下についたもの (□□+□)
- オ 三つの漢字が対等に並ぶもの (□+□+□)

② 次の□に漢字一字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- (1) □ 心伝心 (2) 異 □ 同音 (3) 自 □ 自賛
- (4) □ 機一転 (5) 大 □ 晩成 (6) 半 □ 半疑

③ 次の□に漢数字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- (1) □ 石 □ 鳥 (2) □ 人 □ 色
- (3) □ 転 □ 倒 (4) □ 喜 □ 憂
- (5) □ 苦 □ 苦 (6) □ 束 □ 文

① 次の故事成語の意味をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 推敲 () (2) 螢雪の功 ()
- (3) 株を守る () (4) 蛇足 ()
- (5) 杞憂 () (6) 五十歩百歩 ()

- ア 余計な付け足し
 - イ 無用の心配
 - ウ 苦勞して学問に励むこと
 - エ 似たりよったりで、本質的には大差のないこと
 - オ 古くからのならわしにこだわり、進歩しようとしないうこと
 - カ 詩歌や文章の文句を練り直すこと
- ② 次の()にあてはまる故事成語をあとから選んで書き入れなさい。

(1) 彼は小説家の()とされている賞を受賞した。

(2) 次の試合に向けて、()をして練習する。

(3) ()にならないよう、計画に沿って行動する。

(4) 彼女の話は()が多くて信用できない。

- 背水の陣
- 矛盾
- 登竜門
- 圧巻
- 龍頭蛇尾

◆現代語にない古文特有の語

古語	意味
いと	
げに	
やうやう	はなはだしい。立派だ。
うし	見たい。聞きたい。知りたい。
つれづれなり	言うまでもない。

◆現代語と意味の異なる語

古語	意味
にほふ	はっと気がつく。はっと目が覚める。
あさまし	趣がある。風情がある。
かなし	すばらしい。すぐれている。
うつくし	こちらが恥ずかしくなるほど
はづかし	しみじみとした趣がある。

① 慣用句として正しいほうの語を選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 彼のわがままは()にすえかねる。
- (2) その本が()から手が出るほど欲しい。
- (3) 父に欠点を指摘され、()が痛かった。
- (4) 過去のことは()に流して仲良くしよう。
- (5) 彼女はおとなしそうに見えるが、()をかぶっているだけだ。

② 次の()に体の一部を表す漢字一字を書き入れ、下の()の意味を表す慣用句を完成させなさい。

- (1) ()に衣を着せない(思ったことを率直に言う。)
- (2) ()にどろをぬる(恥をかかせる。)
- (3) ()が出る(予定していたお金では足りなくなる。)
- (4) ()を割る(本心を打ち明ける。)
- (5) ()をそろえる(必要な金額をそろえる。)